

平成21年3月定例会



平成21年第2回定例会は、2月26日から3月23日までの会期26日間で開かれました。

総額1,594億3,200万円の平成21年度一般会計当初予算案など63件の議案を原案どおり可決しました。

このほか、人権擁護委員の候補者を推薦することについて同意し、また、議員提出の市議会委員会条例の一部改正案や農業委員会の委員の議会推薦、意見書案1件についても可決しました。

なお、請願5件のうち4件は不採択、1件は継続審査となりました。

この定例会では、各会派の議員8人が議案や市政全般について質問しました。その概要は、次のとおりです。

可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福山市議会の意思として、その実現に向け、国会および関係機関に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

◆自主共済の適用除外を求める意見書

質問および答弁(要旨)

福山駅前広場整備事業の計画は (明政会)

問 地下送迎場の工事に着手し2年が経過したが、福山城の外堀遺構が出土したことから長期間にわたり中断した。早期の完成が待たれるが、今後の事業予定は。また、遺構の一部を埋め戻すこととされたが、限られた地下スペースでの安全性と利便性の確保ができるのか。

答 地下送迎場の位置・形状の変更に伴い、新たに外堀遺構の掘底の文化財調査やバス乗車場位置の変更をするため、今後、約1年

半の期間を要する。また、地下送迎場の構造については、道路構造令等の基準により行っており、自動車、歩行者の安全性・利便性は確保できる。

◇関連質問

- ・地下送迎場の早期着工を (水曜会)
- ・福山駅前広場整備について (公明党)
- ・早期完成へ方策の検討を (市民連合)
- ・地下駐車場計画は撤回を (日本共産党)

太陽光発電設置費補助について (水曜会)

問 太陽光発電設備の設置を公共施設へ積極的に導入するとともに、企業、家庭でも促進する施策を展開することが必要と考える。新年度の施策の中に、モデル地区指定、優遇施策、施設促進対策があれば、その具体は。

答 家庭への導入促進として従来の補助に加え、新たに一定区域でおおむね5戸以上がまとまって申請する場合には、その地区をモ

デル地区と認定し、1キロワットあたり2万円の補助を7万円に増額する。また、設置費用についても、上限100万円までの無利子融資制度を創設し、融資機関に対し利子補給補助も行っていく。

◇関連質問

- ・太陽光発電設置推進事業について (公明党)
- ・太陽光発電の設置拡大に向けて (新政クラブ)

市民病院について (水曜会)

問 これからの病院経営、医師確保の問題、改革プラン策定による市民病院の将来像など、その方針は。

答 市民病院では、本来の役割を踏まえ、効率的で健全な経営のもと、救急医療、がん診療をはじめ4疾病5事業への取り組みを通じて、高度で良質な医療の質的向上を図っていくことなどを基本に改革プランを策定している。また、医師確保については、研究研修医療機関としての機能を強化し、人材育成に努める中で、地域医療機